苫小牧市高丘霊葬場
維持管理に関する業務仕様書

苫小牧市環境衛生部環境生活課

目 次

「休場日一覧」(別紙①)	1
「火葬及び管理業務仕様書」(別紙②)	2
「清掃業務仕様書」(別紙③)	6
「機械警備業務仕様書」(別紙④)	10
「庭園管理業務仕様書」(別紙⑤)	12
「消防設備点検業務仕様書」(別紙⑥)	14
「自家用電気工作物保守管理保安規定」(別紙⑦)	15
「除雪業務仕様書」(別紙⑧)	22
「受水槽・ボイラー清掃点検業務仕様書」(別紙⑨)	23
「火葬炉設備保守点検業務仕様書」(別紙⑩)	25
「自動扉開閉装置保守点検業務仕様書」(別紙⑪)	27
「給水加圧ポンプ保守点検業務仕様書」(別紙⑫)	28
「地下タンク点検業務仕様書」(別紙⑬)	29
「備品一覧表」(別紙⑭)	30

苫小牧市高丘霊葬場 休場日一覧

年度	月	開場 日数	休 場 日						
8	4月	27	6	22	28				
	5月	27	4	16	21	27			
	6月	25	2	14	18	24	30		
	7月	27	6	16	22	28			
	8月	27	3	14	20	26			
	9月	25	1	11	17	23	29		
	10月	28	5	22	28				
	11月	27	3	19	25				
	12月	26	1	12	18	24	30		
	1月	26	1	5	16	22	28		
	2月	24	3	14	20	26			
	3月	27	4	14	20	26			
	計	316	49日						
9	4月	26	1	18	24	30			
	5月	28	10	22	28				
	6月	26	3	14	20	26			
	7月	26	2	12	18	24	30		
	8月	27	3	15	21	27			
	9月	26	1	13	19	25			
	10月	28	5	17	23				
	11月	26	2	14	20	26			
	12月	26	1	13	19	25	30		
	1月	26	1	5	17	23	28		
	2月	25	3	15	21	25			
	3月	27	2	14	20	31			
	計	317	49日						
10	4月	26	6	18	24	29			
	5月	27	5	17	23	27			
	6月	26	2	14	20	26			
	7月	26	2	14	20	24	30		
	8月	27	5	17	21	27			
	9月	26	2	14	19	25			
	10月	27	1	13	23	29			
	11月	27	4	20	26				
	12月	26	2	14	19	25	31		
	1月	26	1	6	17	23	29		
	2月	24	4	14	20	26			
	3月	27	4	15	21	27			
	計	315	50日						

年度	月	開場 日数	休 場 日						
11	4月	27	2	19	25				
	5月	27	1	17	23	29			
	6月	26	4	15	21	27			
	7月	27	3	14	20	26			
	8月	26	1	11	17	23	29		
	9月	26	4	14	20	26			
	10月	27	2	19	25	31			
	11月	27	10	22	28				
	12月	27	4	14	20	26			
	1月	26	1	12	18	24	30		
	2月	24	4	16	22	28			
	3月	27	4	16	22	28			
	計	317	48日						
12	4月	27	8	20	26				
	5月	27	6	18	24	30			
	6月	26	4	16	22	28			
	7月	26	3	15	21	27	31		
	8月	27	6	18	24	29			
	9月	27	4	16	22				
	10月	26	2	14	20	26	31		
	11月	26	6	18	24	28			
	12月	27	4	16	22	27			
	1月	25	1	2	14	20	24	30	
	2月	24	5	17	22	28			
	3月	28	6	18	28				
	計	316	49日						

高丘霊葬場火葬及び管理業務仕様書

この仕様書は、苫小牧市高丘霊葬場の火葬及び管理業務に適用し、業務の基準及び概要を示すものである。

1 目的

指定管理者及び従事者は、信義に従って誠実にこれを履行するものとし、さらに本仕様書に記載のない事項であっても、業務処理上必要と認められる事項については、実施するものとする。

2 従事者及び勤務内容

(1) 従事者の配置

ア 管理者1名を配置し、施設の管理監督及び墓地、埋葬等に関する法律（昭和23年法律第48号、以下「墓地埋葬法」という。）第16条第2項に規定する火葬許可証への記入、署名、押印を行うとともに、返還の際は、その取扱い方法について説明をすること。

イ 火葬主任者を配置し、火葬業務全般の管理監督を行うものとし、業務に関する一切の事項を処理しなければならない。

ウ 指定管理者は、従事者に事故あるときは速やかに交代要員を派遣し、業務に支障のないようにすること。

エ 従事者には、火葬炉設備に関する施設の円滑な維持管理のために必要な知識を有する者を配置するように努めること。

オ 火葬に関する必要な知識及び遺族に対する接遇等の研修については、指定管理者が適宜行うこと。

カ 業務の遂行に当たっては人生終焉の地として遺族及び参会者の心情を考慮し、常に責任を自覚し、誠意と礼儀を旨とした体制を保持していなければならない。

(2) 勤務内容

ア 休場日は、1月1日及び友引（ただし、第二友引を除く。）とする。ただし、市長が必要と認めるときは臨時に業務を行うものとする。

イ 勤務時間は、午前9時00分から午後4時30分とする。ただし、火葬炉等の使用のある場合は、これにかかわらず火葬炉等の使用が終了するまでを業務実施時間とする。

3 火葬受入れ時間及び件数

1日当たりの火葬受入れ時間及び件数は以下のとおりとする。

10時30分	2件
11時00分	2件
11時30分	2件
12時00分	1件
12時30分	1件

1 3時30分	2件
1 4時00分	2件
1 4時30分	2件
合計	14件

4 業務内容

(1) 火葬業務

- ア 火葬炉の始業及び終業点検業務
- イ 火葬炉の運転操作、監視業務及び火葬炉・炉内台車等の清掃等の業務
- ウ 火葬炉、告別室、収骨室及び待合室の使用調整
- エ 遺体の搬入から遺骨の引き渡しまでの関連業務
- オ 告別室・収骨室にかかわる業務
- カ 残骨灰の処理業務
破れない袋に入れ、袋の口を厳重に縛り、残骨室に一時保管し、適正に処理すること。
- キ 事務室との連絡調整業務
- ク 火葬にかかわる統計業務

(2) 管理業務

- ア 施設の維持管理業務
- イ 火葬炉、関連設備、器具類等の日常点検及び運転記録等のデータ管理業務
- ウ 火葬炉、関連設備等の故障の修繕業務
- エ 駐車場、施設周辺の除雪業務
- オ 備品及び消耗品等の管理業務

(3) 清掃業務

- ア 火葬棟(告別室、収骨室等)の清掃業務
- イ 敷地内の清掃及び整理業務(火葬・管理業務に支障のない範囲とする。)

(4) その他の業務

- ア 業務の処理上特に必要と認める業務

5 服務

指定管理者は、本施設が火葬という人生終焉の重要な儀式を執行するという場所であることを深く認識し、的確な業務執行に努めること。

- (1) 利用者に対して疑念をいだかせない、業務にふさわしい制服・名札を着用すること。
- (2) 霊葬場内外を問わず、業者及び利用者からの「金品」は絶対に受領してはならない。
- (3) 備品、消耗品、各種部品等の整理を的確に行い、業務に支障のないよう管理すること。
- (4) 出退時に当たっては、作業範囲の火気の点検、施錠及び消灯等の見回り点検を行い、防火については特に注意すること。
- (5) 管理者及び火葬主任者は十分な連絡調整を行い、円滑に業務を遂行すること。
- (6) 火葬業務がない時間帯は、管理・清掃業務をはじめ施設の維持・保守業務を行うものとする。
- (7) 業務執行に当たっては、従事者は管理者及び火葬主任者の指示に従うこと。

6 報告義務等

- (1) 毎月5日までに、前月の火葬状況を市長へ報告すること。(墓地埋葬法第17条の規定)
- (2) 指定管理者は、市との協定締結後速やかに管理者の本籍、住所・氏名を市長に報告すること。(墓地埋葬法第12条の規定)
また、従事者の名簿を市に提出し、その後、変更・異動があった場合にも、速やかに手続きをすること。
- (3) 指定管理者は、毎日及び毎月の業務内容について、速やかに報告書を作成し、市に提出すること。
- (4) 指定管理者は、業務中に事故があったときは、直ちに所要の措置を講ずるとともに、事故発生の原因、経過及び内容について市に報告すること。
- (5) 指定管理者は、常に災害等の緊急事態に対応できる体制を整えておくとともに、緊急時の処置について、遅滞なく市に報告すること。

7 労務及び安全管理

指定管理者は、労働基準法、職業安定法、労働者災害補償保険法、その他労働関係法令に基づく措置のすべてを、指定管理者の責任において処理すること。

8 禁止事項

- (1) 指定管理者は、この業務の全部を第三者に委託し又は請け負わせてはならない。また、この契約によって生じる権利、義務を第三者に譲渡又は担保に供してはならない。ただし、指定管理者の申出を受け、市の書面による承諾を得た場合はこの限りではない。
- (2) 指定管理者は、貸与する物品及び業務の履行に関し作成された帳票、FDその他の記憶媒体に記録された情報を業務の履行以外の用途に使用し、又は第三者に提供してはならない。

9 経費の負担

- (1) 市が負担する経費
 - ア 指定管理に係る指定管理費
 - イ 火葬炉設備の耐用回数等による修繕工事費
- (2) 指定管理者が負担する経費
 - ア 業務上必要とする需用費及び役務費、使用料及び賃借料
 - イ 業務上必要とする業務委託に係る経費
 - ウ 業務に必要な燃料費及び光熱水費、修繕費に係る経費
 - エ 業務に必要な事務連絡経費
 - オ 指定管理者の過失により機器等に損傷を与えた場合の経費
- (3) その他定めのない経費が出た場合は、市・指定管理者が協議の上決定する。

10 指定の取消しの要件

市は、指定管理者が次の各号のいずれかに該当することとなったときは、指定期間中であっても指定管理者の指定を取り消すことができる。

(1) 要件

ア 指定管理者が、法令、市の関係条例及び規則並びに指定管理に係る協定等に違反したとき。

イ 指定管理者の指定に関連して不正な行為があったとき。

ウ 指定管理者の業務遂行の状況が著しく不誠実で、契約を誠実に履行する意思がないと市が認めたとき。

(2) 賠償

指定管理者は、市が（１）の規定より指定管理者の指定を取り消した場合において市に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

1 1 秘密の保持

指定管理者は、業務遂行上に知り得た事項を他に漏らしてはならない。

1 2 その他

本仕様書に定めのない事項又は疑義が生じたときは、市と指定管理者は協議して決定する。

高丘霊葬場清掃業務仕様書

この仕様書は、苫小牧市高丘霊葬場の清掃業務に適用し、業務の基準及び概要を示すものである。

1 業務内容

- (1) 日常清掃 作業要領により、必要人員の常駐とする。
- (2) 定期清掃 作業要領により、人員は必要人員とする。

2 清掃範囲

- (1) 火葬棟～風除室、車寄せ、入退室ホール、事務室、炉前ホール、炉前ホール前室、控室、便所、車椅子置き場、廊下、職員便所、休憩室
- (2) 待合棟～スロープ、待合ロビー、待合ホール、便所、廊下、待合室、湯沸室、風除室

3 留意事項

- (1) 常に一定の服装で作業に従事し、休憩時間を含む作業の合間には会葬者の施設利用を妨げぬよう指定の控室を使用し待機すること。
- (2) 作業中は、施設・備品等の取扱いに十分注意し、破損又は紛失しないこと。なお、破損又は紛失、汚損等をした場合には速やかに管理者及び市に報告し、指示を受けること。
- (3) 盗難、火災その他重大な事故を発見したとき又は発生のおそれがあるときは、直ちに市に連絡すること。
- (4) 電気、水道、ガスの使用に当たっては、極力節約に努めること。

作業要領

1 日常清掃

箇所	要領	頻度
火葬棟		
車寄せ	①床面の清掃	随時
風除室	①玄関、入り口の泥落とし	随時
入・退室ホール	②ガラス面の拭き上げ	〃
廊下	③床面の清掃	〃
事務室	①机上、その他の拭き上げ	随時
	②床面の清掃	〃
	③屑入、機器の拭き上げ	隔日
	④テーブル、椅子等の清掃整理	〃
	⑤窓ガラスの拭き上げ	〃
控室	①机上、その他の拭き上げ	随時
	②床面の清掃	〃
	③屑入、機器の拭き上げ	隔日
	④テーブル、椅子等の清掃整理	〃
	⑤窓ガラスの拭き上げ	〃
休憩室（給湯室）	①机上、その他の拭き上げ	随時
	②床面の清掃	〃
	③屑入、機器の拭き上げ	隔日
	④テーブル、椅子等の清掃整理	〃
	⑤窓ガラスの拭き上げ	〃
炉前ホール前室	①ガラス拭き上げ	随時
	②床面の清掃	〃
炉前ホール 車椅子置き場	①床面の清掃	随時
便所 職員便所	①床面の清掃	随時
	②便器、手洗い器等の清掃及び水拭き	〃
	③汚物等内容物の処理清掃	〃
	④化粧用鏡の磨き上げ	〃
	⑤トイレットペーパーの取り付け	〃
待合棟		
スロープ 待合ホール	①ガラス面の拭き上げ	随時
	②床面の清掃	〃
廊下 風除室	①ガラスの拭き上げ	随時
	②床面の清掃	〃
	③入口の泥落とし清掃及び整理	〃
待合ロビー	①備品の清掃及び整理	随時

	②ガラス面の拭き上げ	〃
	③床面の清掃	〃
	④屑入、機器の拭き上げ	〃
便 所	①床面の清掃	随時
	②便器、手洗い器等の清掃及び水拭き	〃
	③汚物入等内容物の処理清掃	随時
	④化粧用鏡の拭き上げ	〃
	⑤トイレトペーパーの取り付け	〃
	⑥ガラスの拭き上げ	〃
	⑦生理用品の補充	〃
待 合 室	①給茶準備の後片付け	随時
	②床面の清掃	〃
	③座面の掃除	〃
	④屑入れ内容物の処理	〃
	⑤テーブル等の拭き掃除	〃
	⑥ガラスの拭き上げ	〃
湯 沸 室	①床面の清掃	随時
	②流し台等の清掃整理	〃
	③ガスコンロ、湯沸器等の拭き掃除	〃
	④お茶殻等の処理	〃
	⑤ガラスの拭き上げ	〃

2 定期清掃

箇 所	要 領	頻 度
火 葬 棟		
事 務 室 廊 下 職 員 便 所	①床面洗浄樹脂ワックス仕上げ	年1回
控 室	①床面汚れ箇所のシミ取り又は張り替え	年1回
待 合 室		
ス ロ ー プ 待 合 ホ ー ル 待 合 ロ ビ ー	①床面汚れ箇所のシミ取り又は張り替え	年1回
便 所 湯 沸 室	①床面洗浄樹脂ワックス仕上げ	年1回
全室の窓ガラス	①ガラス部分の両面を洗剤で磨き上げ。ただし、除外箇所を除く。	年1回
各 便 所	①薬品による便器及び手洗い器の清掃	年1回

3 作業面積

日常清掃		1, 572.8 m ²
定期清掃	ワックス	158.4 m ²
	シミ取り	461.5 m ²
	ガラス	271.4 m ²

高丘霊葬場機械警備業務仕様書

この仕様書は、苫小牧市高丘霊葬場の警備業務に適用し、業務の基準及び概要を示すものである。

1 警備業務

指定管理者は、苫小牧市高丘霊葬場の警備業務を誠実に実行し、市の財産の保全を図るものとする。

- (1) 火災、盗難、破壊又は不法行為の防止
- (2) 事故発生時における関係先への通報、連絡及び処置
- (3) 警備実施結果の業務報告

2 機器の設置及び監視体制

指定管理者は、次条に掲げる設置箇所に機械警備を行うための必要な警報センサー等の機器（以下「機器」という。）を設置し、警備時間中、機器により感知される異常の有無を指定管理者の警備本部において警報受信装置等（以下「受信装置」という。）により間断なく監視し、施設の安全を図ること。

3 機器の設置箇所

機器の設置場所は、施設内の市指定場所とする。

4 警備時間

警備時間については、次のとおりとする。

- (1) 毎日：午後4時30分から、翌日午前9時まで
- (2) 休場日は、午前9時から、翌日午前9時まで

5 警備担当の選任

指定管理者の警備担当者は、責任感が旺盛で、かつ健康な者を充てるものとし、その指導、監督及び人事に関しては、一切指定管理者の責任において行うこと。

6 異常事態発生時の処置

指定管理者は、第4条に掲げる警備時間中に異常又は事故が発生したときは、次のとおり処置を行うこと。

- (1) 警備に係る施設に急行し、異常事態の確認をするとともに、事態の拡大防止の適切な処置を行うこと。
- (2) 警備本部にその状況を連絡し、必要に応じ警備の強化を図ること。
- (3) 指定管理者は、あらかじめ緊急連絡者名簿を作成し、指定する連絡者へ緊急に連絡するとともに、適切な処置を行うこと。

7 機器の保守

指定管理者は、機器が正常な機能を保持するため、毎月1回以上定期的に保守点検を行うとともに、警備本部において警備時間中に機器の正常な作動を確認し、機器に異常が生じたときは、直ちに必要な処置を行うこと。

8 業務計画書

- (1) 指定管理者は、警備業務の実施にあたり、あらかじめ機器の設置場所を記載した図面（A4判等）並びに警備業務実施計画書を作成し市に提出し承認を受けること。
- (2) 指定管理者は、警備業務実施計画書に変更があったときは、速やかに変更内容を確認できる書面を市に提出し、承認を受けること。

9 緊急時の業務報告

異常事態発生時の処置を実施した場合は、速やかに業務報告書を提出すること。

10 その他の事項

この警備業務仕様書に定めのない事項については、その都度、市と指定管理者が協議して決定すること。

高丘霊葬場庭園管理業務仕様書

この仕様書は、苫小牧市高丘霊葬場の庭園管理に適用し、業務の基準及び概要を示すものである。

実施時期、施工方法、管理範囲については、適宜別途協議する。

1 芝生管理

- (1) 芝刈工（庭園部～機械） 890 m²/回×3回/年（集草あり） 6月～9月
- (2) 芝刈工（外構部～機械） 2,700 m²/回×3回/年（集草あり） 6月～9月
 （外構部・調整池～機械） 800 m²/回×3回/年（集草あり） 6月～9月
 ア 肩掛け式草刈機（ブラシカッター）を使用する。
 イ 刈り草処理については、その都度集草し、小型トラック等に積み込み、市廃棄物処分場へ運搬処理すること。
- (3) 草刈工（法面部～機械） 5,500 m²/回×1回/年（集草なし） 9月
 ア 法面作業のためブラシカッターを使用する。
 イ 勾配がきついため安全対策（安全ロープ・法面用靴の使用）に配慮すること。
 ウ 刈り草処理については、芝刈工と同様とする。
- (4) 人力除草工（グラウンドカバー植物） 228 m²/回×2回/年 6月・9月
 （樹木地際） 500 m²/回×1回/年 6月
 ア グラウンドカバー植物（フッキソウ 80 m²・ギボウシ 15 m²・コグマザサ 90 m²・トクサ 12 m²・クサソテツ 11 m²・ハナショウブ 20 m²）の地際に生える雑草を移植ゴテ、鎌等による抜き取りをすること。
 イ 池の護岸石周辺も人力で除草すること。
- (5) 薬剤除草工（庭園部・外構部～手動噴霧器）(3,590 m²/回×0.1)×1回/年 8月
 ア 芝生は、イネ科の植物であるため、周辺からの雑草（クローバー・タンポポ等）、特に広葉の雑草が進入し、お互いに競争するように生育するため、選択性除草剤(1.0ml/m²)を噴霧器等で直接雑草に散布する。また、除草剤専用展着剤(0.31/m²)を加用し散布すること。
 イ 雑草の繁茂状態により、除草剤（MC P Pソーダ塩等）の500～1,000倍の範囲で希釈倍率を決めること。
 ウ 草刈り前、雑草の広葉が確認できる状態の日、晴天の日に散布すること。
- (6) 芝生施肥工（庭園部・外構部～人力）
 3,590 m²/回×2回/年～高度化成肥料（30g/m²） 5月・10月
 ア 高度化成肥料（Nチッソ・Pリンサン・Kカリの合計30%以上40%未満配合）を使用し、芝刈り後に散粒機等で均一に散布すること。
 イ 配合は芝生の生育状態を見ながら決めること。施肥月の気温天候を考慮して施肥後の散水等を適時実施すること。

(7) 目土工(庭園部・外構部～人力) 3,590 m²/回×1回/年 5月

2 樹木管理

(1) 樹木施肥工(地被類～グランドカバー植物) 228 m²/回×1回/年

(コンポスト肥料 140 kg ×100袋) 5月・10月

ア 地際部より少し離れた場所に穴をあけ、有機肥料を使用すること。

イ 樹木は種類により花の咲く時期、花芽形成時期が異なることから、その時期にあわせ適時作業すること。

(2) 剪定工(常緑樹～仕立刈)

クロマツ～5本,ゴヨウマツ～2本,オンコ～21本 1回/年 6月～7月

(常緑樹～玉物刈込み) 玉オンコ～151本 1回/年 6月～7月

ア 剪定・刈込みは樹木の生育状況に応じ実施すること。

(3) 病虫害防除工(殺虫剤散布～接触性)

39本/回×2回/年(スミチオン乳剤～6.5cc/本) 6月・11月

(殺虫剤散布～浸透移行)

20 m²/回×2回/年(オルトラン粒剤～13.0g/m²) 6月・11月

ア 地温上昇とともに虫・病気が発生します。特にサクラ・ウメに毛虫、ハナショウブにアブラムシが発生します。また、6月から8月は毒蛾の発生時期であり、スミチオン(毛虫・毒蛾幼虫)、オルトラン(アブラムシ)の農薬を必要に応じて300～500倍に希釈して噴霧器で散布防除すること。

イ 散布日は、晴天無風日で友引とする。

ウ 薬剤散布者は、マスク・メガネ・ゴム手袋等服装を整え作業すること。

高丘霊葬場消防設備点検業務仕様書

この仕様書は、苫小牧市高丘霊葬場の消防設備点検業務に適用し、業務の基準及び概要を示すものである。

1 業務内容

高丘霊葬場消防設備について、消防法第17条の3の2に基づく点検及び同法第17条の3の3による管轄消防署への点検報告書の提出を行うこと。

2 前項に係る点検項目は次のとおりとする。

(1) 点検種別	外観・機能点検	1回	6月実施
	外観・機能・総合点検	1回	12月実施
(2) 対象設備			
ア 自動火災報知設備	受信機P型1級		1基
	総合盤		5基
	感知器差動式スポット型		25個
	感知器定温式スポット型		56個
	煙感知器		14個
イ 非常放送設備	放送設備		一式
	非常電源		
ウ 誘導灯	誘導灯及び誘導標識		一式
エ 消火栓	消火栓		一式
オ 消火器	消火器		10本
カ その他消防用設備に係る設備	一式		

高丘霊葬場自家用電気工作物保守管理保安規程

この規程は、苫小牧市高丘霊葬場の自家用電気工作物保安管理に適用し、業務の基準及び概要を示すものである。

第1章 総則

(目的)

第1条 苫小牧市高丘霊葬場（以下「霊葬場」という。）における電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安を確保するため、電気事業法（以下「法」という。）第42条第1項の規定に基づき、この規程を定める。

(法令及び規程の遵守)

第2条 当霊葬場の電気工作物設置者及び従業者は、電気関係法令及びこの規程を遵守するものとする。

(規程等の改正)

第3条 この規程の制定または改正にあたっては、霊葬場「電気設備等保安業務委託」、受託業者（以下「受託者」という。）の意見を求め、これを定めるものとする。

(保安に関する業務)

第4条 当霊葬場の電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安業務は、本規程の定めるところにより行うものとする。

第2章 保安業務の運営管理体制

(保安業務の管理)

第5条 当霊葬場の電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安業務は苫小牧市高丘霊葬場が総括管理します。

(電気工作物設置者の義務)

第6条 電気工作物に関する保安上重要な事項を定め、または行おうとするときは、受託者の意見を求めるものとする。

2 受託者から指定及び協議した保安に関する事項については、すみやかに必要な措置をとり、また受託者から助言を受け、または意見を求め合意した保安に関する事項については、その意見を尊重するものとする。

3 法令に基づいて提出する書類の内容が電気工作物の保安に関係ある場合には、受託者の意見を求め、立案し決定するものとする。

4 電気関係法令に基づいて行う電気工作物の検査には、受託者を立会わせるものとする。

(連絡責任者等)

第7条 電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安のための巡視を行う者を定めるとともに、保安に関する業務のため必要な事項を受託者に連絡する連絡責任者を定め、その氏名、連絡方法等を受託者に通知するものとする。

- 2 前項の連絡責任者に事故がある場合は、その業務を代行させるための代務者を定め、直ちにその氏名、連絡方法等を受託者に遅滞なく通知するものとする。
- 3 前各号に変更が生じた場合は、直ちに受託者に通知するものとする。
- 4 連絡責任者またはその代務者を、受託者の行う保安管理業務に立会わせるものとする。
(従業者の義務)

第8条 電気工作物の工事、維持または運用に従事する者は、受託者がその保安のために行う指導を受けるものとする。

第3章 保安教育

(保安教育)

第9条 受託者の意見を求め、電気工作物の工事、維持または運用に従事する者に対し、電気工作物の保安に関する必要な事項について教育を行うものとする。

(保安に関する訓練)

第10条 受託者の意見を求め、電気工作物の工事、維持または運用に従事する者に対し、災害その他電気事故が発生した場合の措置について、必要に応じ演習訓練を行うものとする。

第4章 工事の計画及び実施

(工事計画)

第11条 電気工作物の設置または変更(改造、修理、取替、撤去等をいう。)の工事計画を立案するにあたっては、保安に関し受託者の意見を求めるものとする。

(工事の実施)

第12条 電気工作物に関する工事の実施にあたっては、必要に応じて受託者の工事中点検をうけて施工するものとする。

- 2 電気工作物に関する工事を他の者に請負わせる場合には、常に責任の所在を明らかにし、工事が完成した場合には受託者の竣工調査をうけ、保安上支障ないことを確認して引取るものとする。

第5章 保守

(巡視・点検・測定試験等)

第13条 電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安のための巡視、点検及び測定試験は、受託者に委託する業務に係るものについては、別紙「点検・測定試験の細目及び基準」により、その他の業務に係わるものについては、受託者と協議して行うものとする。

- 2 受託者が行う前項の点検及び測定試験の業務に関する計画の策定及び実施について協力するものとする。

(技術基準の適合義務)

第14条 巡視、点検、及び測定試験の結果、経済産業省令で定める技術基準、その他の法令に適合しない事項が判明したときは、当該電気工作物を修理、改造、移設、またはその使用を一時停止し、若しくは制限する等の措置を講じ、常に技術基準その他の法令に適合するよう維持するものとする。

(異常の早期発見及び応急措置と再発防止)

第15条 連絡責任者または代務者は、電気工作物に関する事故その他の異常が発生し、または発生するおそれがある場合には、受託者に迅速に報告または連絡し、受託者の指導を受けて適切な応急措置をとるものとする。

2 事故その他異常の発生の原因調査及び再発防止について、受託者等の指示または助言を求め、必要に応じて受託者に精密な点検などを行わせ適切な措置をとるものとする。

第6章 運転または操作

(運転または操作)

第16条 平常時及び事故その他の異常時における遮断器、開閉器、その他機器の操作順序及び運転方法を受託者の意見を求め、あらかじめ定めておくものとする。

2 事故その他の異常が発生した場合の報告もしくは連絡すべき事項ならびに経路を、受電室その他見やすい場所に掲示しておくものとする。

3 区分開閉器及び受電用遮断器の操作にあたっては、必要に応じて供給電力会社の関係事務所と連絡して行うものとする。

第7章 災害対策

(防災体制)

第17条 非常災害その他の災害にそなえて、電気工作物の保安を確保するため、受託者の意見を求めて適切な措置をとることができる体制を整備しておくものとする。

(災害時の連絡等)

第18条 連絡責任者または代務者は、非常災害時には迅速に受託者に連絡し、その指導を受けるものとする。

2 連絡責任者または代務者は、非常災害等の発生にともない危険と認められるときは、受電を停止し、災害等の拡大防止をはかるものとする。なお、火災については、防火管理者の指示に従うものとする。

第8章 記録

(記録の保存)

第19条 電気工作物の工事、維持及び運用に関する次の記録は5年間保存するものとする。

- (1) 巡視点検及び測定試験記録
- (2) 電気事故に関する記録

2 主要機器の補修記録は、受託者の定める設備台帳に記録し、必要な期間保存するものとする。

第9章 整備その他

(危険の表示)

第20条 受電室その他高圧電気工作物が設置されている場所等であって、危険のおそれのあるところには、人の注意を喚起するよう表示を設けるものとする。

(測定器具等の整備)

第21条 電気工作物の保安上必要とする測定器具類、工具、材料、予備品、消耗品等を受託者の意見を求めて整備し、これを適切に保管するものとする。

(設計図書類の整備)

第22条 電気工作物に関する設計図、仕様書、取扱い説明書等については必要な期間整備保存するものとする。

(手続書類等の整備)

第23条 関係官庁、電気事業者等に提出した書類及び図面、その他主要文書については、その写しを必要な期間保存するものとする。

点検・測定試験の細目及び基準

- 1 電気工作物の維持及び運用に関する点検・測定試験の基準は、次の各号によるものとする。
 - (1) 受託者が行う点検・測定試験は電気工作物の種類及び点検項目に従い、原則として別表1及び別表2のとおりとします。
 - (2) 電気事故その他電気工作物に異常が発生し、または発生するおそれがある場合に、受託者は設置者または電気事業者等の通知にもとづいて、電話により、または保安員を派遣して応急措置の指導を行います。

この場合において設置者は、受託者が応急措置の判断に役立てるため、電気事故の発生箇所、異常の状況等を適切に受託者に連絡するものとします。
 - (3) 電気事業法第107条2項に規定する立入検査の立会いについては、その都度設置者の通知にもとづいて、受託者はただちに保安員を派遣して行うものとします。
- 2 電気工作物の工事中の点検は、工事計画、技術基準にもとづき適正に行われるよう毎週1回行うものとします。

別表 1

点検・測定試験基準

	電気工作物	項目	種別		
			隔月点検	年次点検（点検年度）	臨時点検
受電設備 （構内電線路二次変電設備を含む）	引込線 電線及び支持物	外観点検 観察点検 ※絶縁抵抗測定	○	3年に2回（R8、R9、R11、R12） 3年に1回（R8、R11） ○	異常の発生または発生する恐れのある場合
	遮断器 開閉器	外観点検 観察点検 ※絶縁抵抗測定 動作試験	○	3年に2回（R8、R9、R11、R12） 3年に1回（R8、R11） ○ ○	
	母線、計器用変成器 断路器、コンデンサ 避雷器	外観点検 観察点検 ※絶縁抵抗測定	○	3年に2回（R8、R9、R11、R12） 3年に1回（R8、R11） ○	
	変圧器	外観点検 観察点検 ※絶縁抵抗測定 絶縁油試験	○	3年に2回（R8、R9、R11、R12） 3年に1回（R8、R11） ○ 6年に1回（R9）	
	配電盤及び 制御装置	外観点検 観察点検 ※絶縁抵抗測定 継電器動作試験 継電器特性試験	○	3年に2回（R8、R9、R11、R12） 3年に1回（R8、R11） ○ 3年に1回（R8、R11） 必要に応じて	
	接地装置	外観点検 観察点検 接地抵抗測定	○	3年に2回（R8、R9、R11、R12） 3年に1回（R8、R11） ○	
	絶縁監視装置	外観点検 動作確認 動作試験	○ ○		
電気使用場所	電動機、照明装置 配線及び配線器具 その他の機器類	外観点検 観察点検 ※絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 絶縁監視	○ (常時)	3年に2回（R8、R9、R11、R12） 3年に1回（R8、R11） ○ ○	
非常用予備発電設備	内燃機関	外観点検 観察点検 起動試験	○ ○	○ ○ ○	
	発電装置	外観点検 観察点検 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定	○	○ ○ ○ ○	
	開閉器その他の電気機器		受電設備に同じ		

- (注) 1. 外観点検とは、電源を遮断しない状態において梯子その他の器具を用いないで到達できる範囲内でもっとも見やすい箇所から目視（以下必要に応じて簡単な携帯計器の使用を含む）などにより、電気工作物を点検することをいう。
2. 観察点検とは、電源を遮断した状態において、容易に到達できる範囲内でもっとも見やすい箇所から目視のほか触手などにより電気工作物を点検することをいう。ただし、柱上設備など高所に施設され、触手することが困難な電気工作物については、必要に応じて双眼鏡を用いて点検する。
3. ※印を付した項目は、停電範囲その他の理由によって実施を延期することがある。

別表 2

点検・測定試験の周期

点検の種類	隔月点検	年次点検	臨時点検
業務内容	主として運転中の施設の点検及び測定試験	主として施設の運転を停止して行う点検及び測定試験	異常の発生又は発生するおそれのある場合、必要に応じてその原因調査のため行う特別な点検
周期	隔月 1 回	年 1 回 内訳は(注)1による	必要の都度

(注)1. 年次点検の内容は次による。

3年のうち、1年を停電し、残り2年は無停電で実施する。

高丘霊葬場除雪業務仕様書

この仕様書は、苫小牧市高丘霊葬場敷地内除雪業務等の仕様について定める。

1 対象施設

所在地 苫小牧市字高丘4 1 番地の1

名称 苫小牧市高丘霊葬場

2 業務内容

霊葬場構内が積雪により、車両等の通行に支障が生じると予測され、概ね10cmを超える場合、及び強風により吹きだまりが著しいとき、または、管理者が施設管理上、必要と判断したときに、タイヤショベルを使用して除雪を行うこと。

3 注意事項

- (1) 業務に要する費用の単価は、1時間当たりとする。
- (2) 業務中は、縁石その他の施設を損傷しないよう細心の注意を持って行うこと。
- (3) 施設利用者への安全に十分配慮し、慎重な作業を行うこと。
- (4) 業務中における故意又は過失での物損事故、施設等の損傷については、指定管理者の責任において修復・復旧負担すること。
- (5) 業務の安全対策を講じること。

4 その他

当該月分の除雪業務報告書を作成し、翌月初めに市に提出すること。

高丘霊葬場受水槽・ボイラー清掃点検業務仕様書

この仕様書は、苫小牧市高丘霊葬場の受水槽清掃点検及びボイラー保守点検業務に適用し、業務の基準及び概要を示すものである。

対象物件については、定期検査は義務付けられていないが、年に1回の自主点検を行い、各設備の機能を良好な状態に保つため、次の項目について点検を行う。

1 受水槽清掃点検

(1) 対象物件

苫小牧市高丘霊葬場 受水槽設備

種類 FRP製 6 m³ 2.0×2.0×1.3 2槽式水槽

(2) 業務内容

水槽内部清掃後必要な点検、調整等を行い、各機器の円滑な作動を確保し、業務に支障のないようにすること。

ア 受水槽の内外6面点検及び水槽内清掃、水質検査

イ 各設備・機器等の異常の有無

(3) 前項に係る各設備等の調整点検は、次のとおりとする。

ア 受水槽（外部） 外観、6面確認、亀裂等

イ 受水槽（内部） 外観、6面確認、亀裂、異物、沈渣、各種配管等

ウ 水質検査 遊離残留物塩素、色度、濁度、臭気、味、PH値、
鉄硝酸性及び亜硝酸性窒素、塩素イオン、有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）、一般細菌、大腸菌群

(4) 付属機器

ボールタップ、マンホール及び蓋、満減水警報装置、オーバーフロー管及び排水口空間、ドレン管、空気抜き管、内部ステー、弁類等、その他

2 ボイラー保守点検

(1) 対象物件

苫小牧市高丘霊葬場 ボイラー設備

種類 タクマ真空式パコティンヒーター KSL-300BL型2基

(2) 業務内容

真空式温水ボイラーは法的にボイラーの扱いを受けない。従って定期点検は義務付けられていないが、1年に1回以上の総合点検を行うことにより、長寿命、高効率を全うすることができる。

(3) 前項に係る各設備等の調整点検は、次のとおりとする。

ア 燃焼室清掃・点検

イ バーナー装置清掃・点検・調整

- ウ 自動抽気装置清掃・点検
- エ 安全装置清掃・点検・調整
- オ 電気制御装置点検・調整
- カ 試運転調整

3 報告

点検終了後は、報告書を市に提出すること。

なお、点検調整等業務中に設備の異常及び故障を認めた場合は、速やかに報告し、部品交換等にかかる費用等について別途協議すること。

高丘霊葬場火葬炉設備保守点検業務仕様書

この仕様書は、苫小牧市高丘霊葬場の火葬炉設備保守点検業務に適用し、業務の基準及び概要を示すものである。

火葬炉設備については年1回必要な点検、調整等を行い、各機器の円滑な作動を確保し、業務に支障のないようにすること。

また、毎月専門の職員による定期巡回点検、調整を行い異常の有無を確認すること。
各機器に異常が発生した場合は、随時専門の職員を派遣し、点検、調整を行うこと。

1 火葬炉及び煙道系統の諸機器

(1) 火葬炉

- ア 断熱扉及び開閉装置の状態。
- イ 台車の消耗度
- ウ 炉内レンガの状態
- エ 炉体ケーシングの状態
- オ その他の付属部品の状態

(2) 再燃焼炉

- ア 炉内レンガの状態
- イ その他の付属部品の状態

(3) 排ガス・排気設備

- ア 煙道ダクトの状態
- イ 排気ファンの状態
- ウ 排気筒の状態
- エ 排ガス冷却空気取り入れ口及びC、M、開閉ダンパーの状態

2 燃料系統諸機器

(1) 燃焼機器

- ア チルチング式バーナー
- イ 再燃用サイレントバーナー
- ウ ターボブロアー
- エ 燃焼用空気元バタ弁及び開閉装置
- オ オイルポンプ
- カ オイルストレナー
- キ オイルリリーフバルブ
- ク オイル流量計
- ケ 油圧調整弁
- コ オイルシギュレーティングコック

- サ オイルフィルター
- シ エアーフレキシブルホース
- ス オイルフレキシブルホース
- セ その他の燃焼機器

3 電気・計装設備、その他付帯設備等

(1) 電気・計装設備

- ア 1・2系列動力制御盤
- イ 3・4系列動力制御盤
- ウ 炉制御盤 8面
- エ 中央監視盤
- オ モニター盤
- カ 残灰盤
- キ 3相モーター（排気ファン、ブロワ、オイルポンプ、台車、断熱扉、ルーツブロワ、ロータリーバルブ、コンプレッサー）
- ク コントロールモーター（炉圧、排気温度、再燃温度、主燃温度、冷却、残灰吸引圧）
- ケ 主燃チルチングモーター
- コ 計装用計器（炉圧発信機、残灰吸引圧発信機、オイル流量発信機、空気圧、オイル圧、感震機）
- サ 熱電対（排気温度、再燃温度）
- シ 電磁弁
- ス 点火トランス
- セ 炎検知器
- ソ リミットスイッチ

(2) 付属部品

- ア 操作工具
- イ 保守点検工具

(3) 特殊付帯設備

- ア 防塵フィルター
- イ 冷却前室
- ウ 台車駆動装置
- エ 地震感知装置（安全弁含む）
- オ その他

4 報告

年次点検終了後は、報告書を市に提出すること。

なお、点検調整等業務中に設備の異常及び故障を認めた場合は、速やかに市に報告すること。
その場合、部品交換等にかかる費用は、その都度市と協議すること。

高丘霊葬場自動扉開閉装置保守点検業務仕様書

1 業務内容

- (1) 自動扉開閉装置の機能を正常かつ良好な状態に保全するために、当該機器の点検及び調整を行うこと。
- (2) 機器の点検及び調整には、通常に使用する場合に生じる磨耗、劣化による範囲における構成部品の修理又は取替えを含む。
- (3) 保守点検業務は年2回実施し、報告書を市に提出すること。
- (4) 定期点検以外であっても、機器の異常が認められた場合は、定期点検と同様の措置を行うこと。

2 機種仕様

正面入口扉	SOV-200KLDM	4台
身障者トイレ	SOV-60KLTM-E	1台
火葬炉扉		8台

3 機器の修繕

- (1) 点検時において、放置した場合には修繕を要することが予測される不具合を発見した時は、市に報告すること。
- (2) 点検時に故障を発見し、修繕を要すると認められる場合においては、当該機器の修繕を行うこと。

高丘霊葬場給水加圧ポンプ保守点検業務仕様書

1 業務内容

- (1) 給水加圧ポンプの機能を正常かつ良好な状態に保全するために、当該機器の点検及び調整を行うこと。
- (2) 機器の点検及び調整には、通常に使用する場合に生じる磨耗、劣化による範囲における構成部品の修理又は取替えを含む。
- (3) 保守点検業務は年1回実施し、報告書を市に提出すること。
- (4) 定期点検以外であっても、機器の異常が認められた場合、定期点検と同様の措置を行うこと。

2 点検項目

- (1) 運転状況確認
- (2) 能力確認
- (3) 外観確認など

3 機種仕様

給水加圧ポンプ EBARA 32VNP 2基

4 機器の設置場所

字高丘41番地の18 高丘霊園管理事務所隣ポンプ室

5 機器の修繕

- (1) 点検時において、放置した場合には修繕を要することが予測される不具合を発見した時は、市に報告すること。
- (2) 点検時に故障を発見し、修繕を要すると認められる場合においては、当該機器の修繕を行うこと。

高丘霊葬場地下タンク点検業務仕様書

1 業務内容

- (1) 安全かつ適切な状況を維持するため、消防法に基づく点検業務を行うこと。
- (2) 点検業務は年1回実施し、報告書を市に提出すること。

2 地下タンク容量等

10,000リットル 灯油

3 点検項目

- (1) 地下タンク本体気相部及び地下埋設配管部の漏洩検査を実施すること。
- (2) 微加圧試験法で実施すること。

高丘霊葬場 備品一覧表

番号	品名	規格・品質	数量	設置場所
1	ヤマハ 除雪機	YT-1080ED	1	物品庫
2	スチールデスク	イトーキ 6号 ADK261	6	事務室2・管理室4
3	スチールデスク	イトーキ 3号 ADK131	1	事務室
4	スチール書庫	イトーキ HAH118GSS-WE	1	事務室
5	スチール書庫	イトーキ H-361Y-WE	1	事務室
6	キッチンキャビネット	ライオン RK-36	1	事務室
7	ロッカー(1人用)	イトーキ HDH-4511-SSTE	1	事務室
8	テーブル(ミーティング用)	アイチ TRY-2412E	1	業者待合室
9	ロビーチェア	アダル エステート S6007-1W6	9	控室
10	ロビーチェア	アダル ケープ S9060-1WB6	3	控室
11	タニコー	卓上ゆで麺器 TCU-4445X	1	売店
12	保冷库	ステンレス縦型 L2150×H650×W780	1	霊安室
13	告別台	天板黒・御影石・キャスター付 L2000×H750×W300	2	告別室
14	収骨台	天板黒・御影石・キャスター付 L1300×H750×W700	2	収骨室
15	骨箱台	天板黒・御影石・キャスター付 L500×H750×W500	2	収骨室
16	移動収骨機台	ステンレス製	2	収骨室